

プラストクリート®20N プラストクリート®20R

ポリオール系 AE減水剤

概要	プラストクリート®20N (標準形) およびプラストクリート®20R (遅延形) は、JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」に適合する良質なAE減水剤です。強力なセメント分散作用と安定した空気連行作用により、単位水量を通常のAE減水剤より減少させ、ワーカビリティ、強度、水密性、コンクリートの中酸化に対する抵抗性などに優れたコンクリートを経済的に製造できます。				
用途	<ul style="list-style-type: none">■ 単位水量低減対策■ 高品質コンクリート■ 一般コンクリート構造物■ プレストレストコンクリート構造物■ 暑中コンクリート (プラストクリート®20R)■ マスコンクリート (プラストクリート®20R) など				
特長	<ul style="list-style-type: none">■ 減水性に優れ、通常のAE減水剤より単位水量の減少が可能です。■ スランプの保持性に優れ、コンクリートの扱いが容易です。■ 水密性、耐久性を増し、高品質なコンクリートを製造できます。■ 混和剤単独使用では、ほとんど空気を連行しないため、AE剤の良質な空気泡がコンクリート中に連行されることにより、コンクリートの性状が改善され、細骨材率を1~2%低減できます。■ 通常のAE減水剤と同様な取扱いやすさを持ち、安定したコンクリートが製造できます。■ 無塩化タイプです。				
規格	JIS A 6204 AE減水剤 標準形 (I種) : プラストクリート®20N 遅延形 (I種) : プラストクリート®20R				
主成分および物性					
製品名	主成分	外観	密度 (g/cm ³)	塩化物イオン (Cl ⁻) 量 (%)	全アルカリ量 (%)
プラストクリート®20N	変性ポリオールと特殊界面活性剤	褐色液体	1.050~1.070	0.01	1.0
プラストクリート®20R	変性ポリオールと特殊界面活性剤	褐色液体	1.050~1.080	0.01	1.0
塩化物イオン量および全アルカリ量は分析値例					
使用量および使用方法	<ul style="list-style-type: none">・使用量はセメント質量の0.6~1.5%です。(標準使用量1.0%)・コンクリートの空気量調整にはシーカのAE剤を使用して下さい。・通常のAE減水剤同様に練混ぜ水に混合して使用して下さい。				
保存期間	缶類の場合未開封で直射日光を避け冷暗所に保管して6カ月				
荷姿	タンクローリー、200kgドラム缶、18kg缶 (缶類は受注生産)				

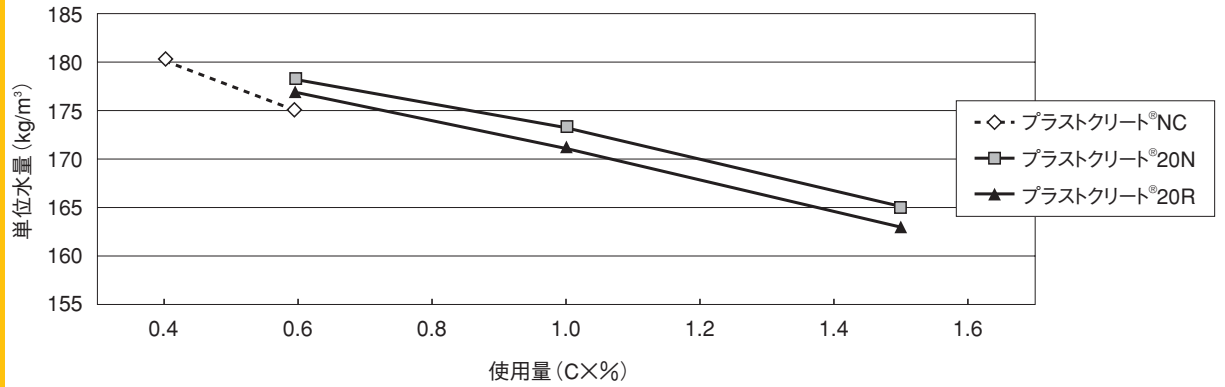


性能

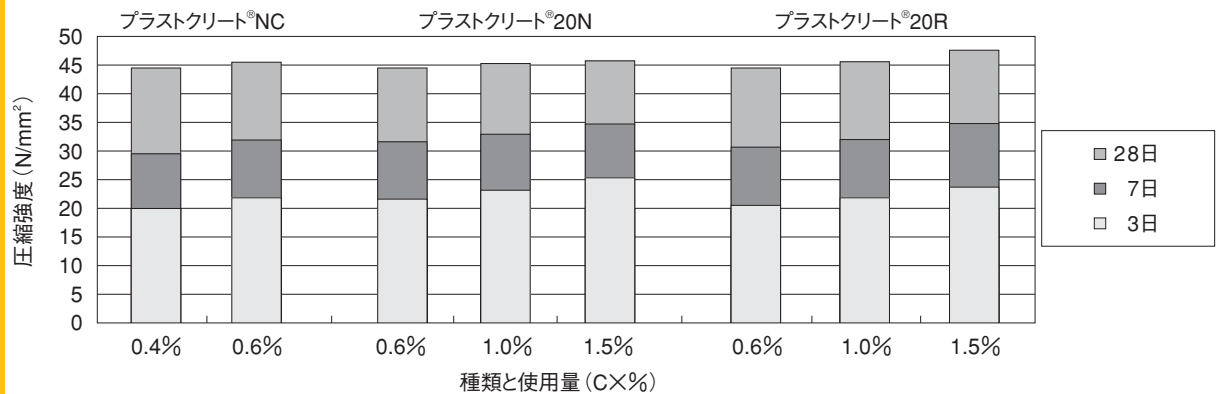
通常のAE減水剤との比較試験結果例

コンクリート配合 (調合) 普通ポルトランドセメント : 3銘柄等量混合 ($\rho=3.16$)
 細骨材 : 陸砂 (0~5mm、 $\rho=2.60$)
 粗骨材 : 石灰砕石2005 (5~20mm、 $\rho=2.70$)

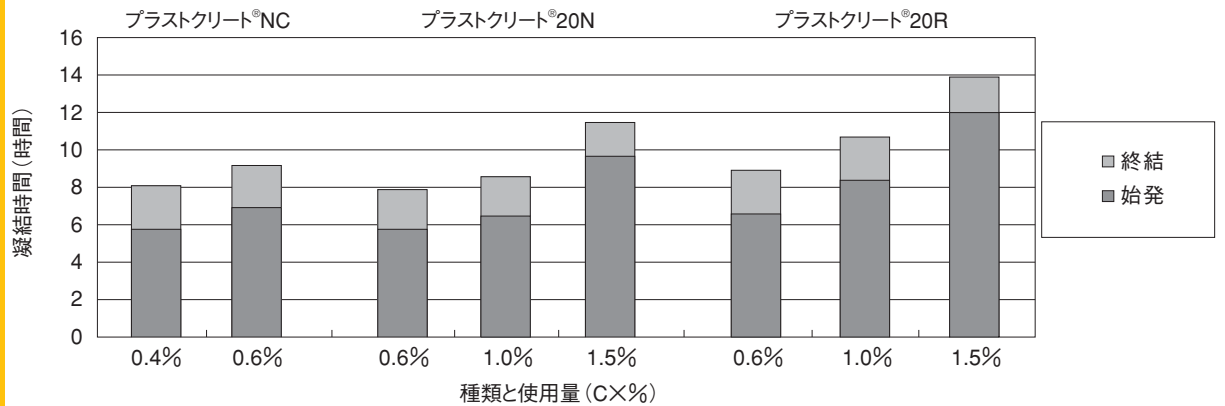
使用量と単位水量 (W/C=50%)



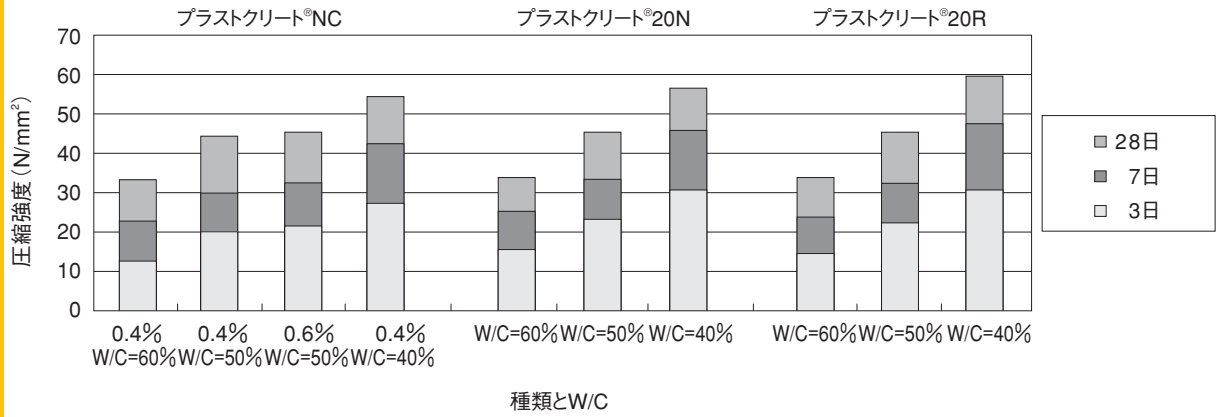
使用量と圧縮強度 (W/C=50%)



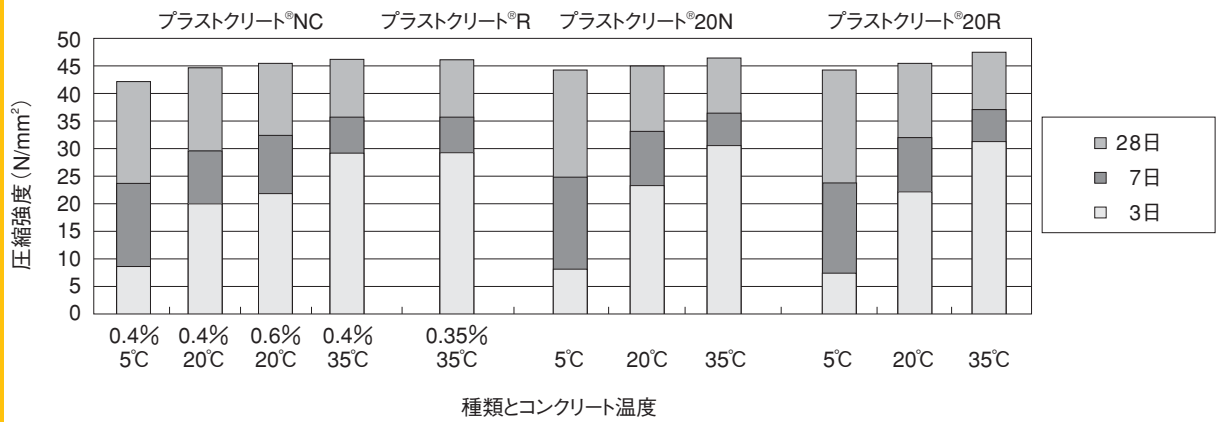
使用量と凝結時間 (W/C=50%)



水セメント比と圧縮強度 (プラストクリート®20N,20Rの使用量は1%)

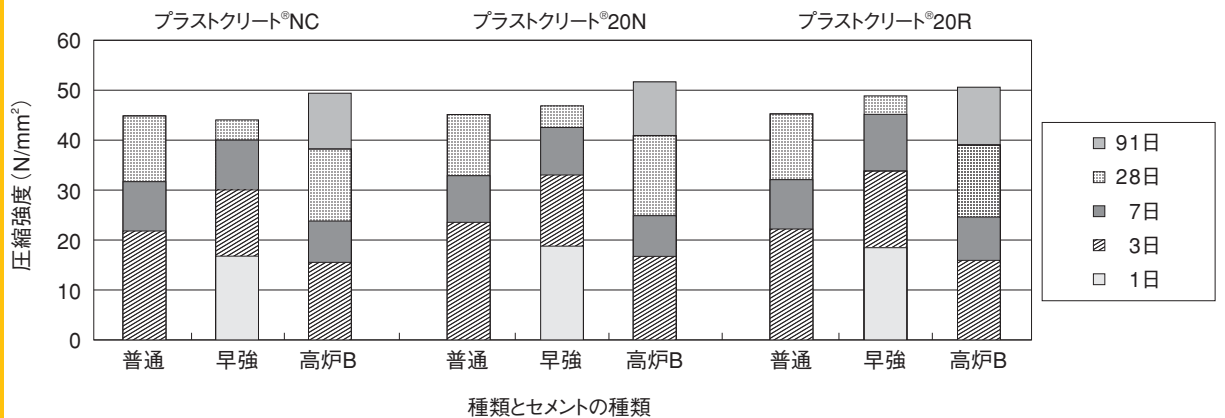


コンクリート温度と圧縮強度 (W/C=50% プラストクリート®20N,20Rの使用量は1%)



セメントの種類と圧縮強度

(W/C=50% プラストクリート®NCの使用量は0.4% プラストクリート®20N,20Rの使用量は1%)



JIS A 6204 AE減水剤規格による試験結果

品質項目	標準形	プラストクリート®20N	遅延形	プラストクリート®20R	
	規格値		規格値		
減水率(%)	10以上	15	10以上	16	
ブリーディング量の比(%)	70以下	54	70以下	62	
凝結時間の差 (min)	始発	-60~+90	+70	+60~+210	+175
	終結	-60~+90	+60	0~+210	+165
圧縮強度比 (%)	材齢 7日	110以上	133	110以上	134
	材齢 28日	110以上	126	110以上	126
長さ変化比(%)	120以下	98	120以下	98	
凍結融解に対する抵抗性 [相対動弾性係数(%)]	60以上	91	60以上	89	
塩化物イオン(Cl ⁻)量(kg/m ³)	0.02以下	0.00	0.02以下	0.00	
全アルカリ量(kg/m ³)	0.30以下	0.03	0.30以下	0.03	

使用量はセメント質量に対して1.0%使用

塩化物イオン量および全アルカリ量は、プラストクリート®20N、プラストクリート®20Rの分析値より算出

注意

重要事項

混和剤タンク内への立入りは禁止です。

使用

- ・減水率、凝結時間などの性能は、コンクリートの材料(セメント、骨材など)、コンクリートの配合、温度などの条件により変わる場合があります。
- ・推奨する使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試験練りを行って下さい。
- ・他の異なった混和剤との混合使用は避けて下さい。

取扱いおよび
応急措置

- ・長時間皮膚に触れたり、目や口に入らないように注意して下さい。
- ・皮膚に付着した場合は水と石鹸で速やかに洗い流して下さい。目に入った場合は、直ちに15分以上大量の水で洗い流し、飲み込んだ場合は直ちに吐かせて口腔内を洗い医師の診断を受けて下さい。吸入した場合は空気の新鮮な場所に移り、何らかの症状が出た場合は医師の診断を受けて下さい。
- ・詳細は製品安全データシートを参照して下さい。

保管

- ・直射日光を避け、冷暗所で密封して凍結しないように保管して下さい。また、開封後はできるだけ早く使い切るようにし、異物が混入しないように注意して下さい。
- ・凍結した場合(氷点:-1℃)は自然解凍させ、よく混合してから使用して下さい。

廃棄

産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

シーカ製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、接着面および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらすものでもありません。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のプロダクト・データ・シートの最新版に留意して下さい。プロダクト・データ・シートの最新版をご請求いただければ当社が提供いたします。



日本シーカ株式会社
コンクリート用建設資材本部
〒254-0021 神奈川県平塚市長瀬1-1
TEL 0463-21-1059 FAX 0463-21-1316
<http://www.sika-japan.co.jp/>



認証取得：平塚・小野・新南陽